

さいたま市長メッセージ（令和2年4月8日）

4月7日、国が、新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を出し、約1か月間、埼玉県のほか7つの都府県が対象となりました。

これに伴い、埼玉県知事から緊急事態措置が示されました。内容は、市民の皆様への外出の自粛要請、事業者の皆様に対してのイベントの制限の要請などです。市民の皆様にはこれまでも不要不急の外出の自粛をお願いしてまいりました。このような自粛などのお願いは引き続き行いますが、今後は法に基づく要請という形に変わります。また、様々な私権の制限を伴うような措置を講じることが可能となります。示された措置事項については、県などしっかりと連携しながら対策を進めていきます。

本市では、宣言を受けて、いくつかの対策を行います。

まず、これまで、感染拡大防止の観点から、令和2年4月19日まで、市民利用施設の休止及び市主催イベントを中止又は延期としていますが、緊急事態宣言を踏まえ当該期間を5月6日(水)まで継続します。また、休止期間につきましては、緊急事態宣言の発出期間に応じて、変更する場合がございます。

市立学校においては、5月6日までの臨時休業の延長を決め、その期間中分散登校を準備していたところですが、緊急事態宣言を受けて誠に残念ではありますが、分散登校を中止することとしました。臨時

休業期間中の子どもたちの学びの機会を支援していくために、教育

委員会や各学校では、ホームページ等を活用し、学習課題や市Webサイトの学習コンテンツを充実させ学習の定着を図ってまいります。ぜひ、ご活用ください。

なお、保育園、放課後児童クラブ、子育て支援型幼稚園における保育や子どもの預かりは今後も継続して実施してまいります。各施設や保護者に対して登園等の自粛を要請します。

次に、働き方の見直しを徹底します。サテライトオフィスや情報セキュリティを施したポータブル端末を使用することで、可能な職員には、テレワークの活用に取り組んでいただきます。また、会議等の開催方法の見直しや、公共交通機関を利用する職員の時差出勤など、外出や感染の危険が高いとされる「3つの密」を避けることをこれまで以上に徹底していきます。さらに、市民の皆様の緊急事態宣言についての不安や疑問に答えるため、電話窓口、新型コロナウイルス対策専用ダイヤルを設置するなどの対応を行ってまいります。

医療につきましても、医療崩壊を招かないため、保健所や感染症の所管課の体制強化を図るため、人員の増員を早期に実現します。また、市の感染症対策ネットワークなどを通じて、感染者の受け皿の拡大など、さまざまな問題に取り組むとともに、県や関係機関と連携しながら、対策を進めてまいります。

本市においても、先週から感染者数が大幅に増加しており、4月7日の19時時点で、34名となり、そのうち感染経路不明者が、約半数とい

う、状況じょうきょうです。本市ほんしとしましては、今いまが極めて重要きわじゅうような時期じきと認識にんしきしております。

これまでは、感染者かんせんしゃや濃厚接触者のうこうせつしょくしゃの行動こうどうを制限せいげんすることで、感染拡大かんせんかくだいを防止ぼうししてきましたが、感染経路かんせんけいろが不明ふめいということは、市民しみんの一人ひとりお一人ひとりが不要不急ふようふきゅうの外出がいしゅつを控えるなど、行動こうどうの自粛じしゅくが大切たいせつとなります。

市民しみんの皆様みなさまには、改めてあらた、できる限りかぎ外出がいしゅつをしない事ことや、やむを得ずえ外出がいしゅつされる際には、換気かんきの悪い密閉空間みつぺいこうかん「多くの人の密集おおひとみっしゅう」「近距離きんきょりでの密接な会話みつせつかいわ」の「3つの密みつ」を避けることを要請ようせいします。

緊急事態宣言きんきゅうじたいせんげんが出された意味だを十分いみじゅうぶんに受けとめていただきたいと思おもいます。皆様みなさまご自身じしんだけでなく、大切な人たいせつひとの健康・生命けんこういのちを守るために、これまで以上いじょうにご協力きょうりょくをいただきますようお願いねがします。

一方で、食品いっぽうや医薬品しやくひんなどの生活必需品いやくひんの購入せいかつひつじゅひんや通院こうにゅうなど必要つういんな外出ひつようの制限がいしゅつせいげんは有りません。買い占め等あの極端かしとうな行動きょくたんはお控えこうどうください。

なお、散歩さんぽやジョギングなどは可能かのうです。やむを得ずえ外出がいしゅつする際には、行列ぎょうれつを作らずつく、人と人との間隔ひとひとかんかくをおよそ2メートル確保かくほするよう努めつとてください。

新型しんがたコロナウイルスは、健康けんこうへの影響えいきょうだけでなく、心こころにもダメージを与えるあたものです。今こそいま、皆さんみなで思いやりおもの心こころを持って、この難局なんきよくを乗り越えてのこいきたいと思っています。市民しみんの皆さんみな、共に頑張ともがんばっていきましよう。